

ワークサンプル幕張版 (Makuhari Work Sample (MWS)) 改訂・新ワークサンプル開発 ご 案 内



ワークサンプル幕張版 (MWS) とは

障害者職業総合センター障害者支援部門で開発された「職場適応促進のためのトータルパッケージ」を構成するツールのひとつです。

様々な職務に対応できるワークサンプルとして、職業能力の評価だけでなく作業上必要となるスキルや環境（補完手段・行動、支援方法等）を明らかにしたり、作業遂行力を高めていくためのトレーニングができるツールです。

対 象 者

- ・ 就職を目指している障害のある方
- ・ 職場復帰を目指している休職中の方 など

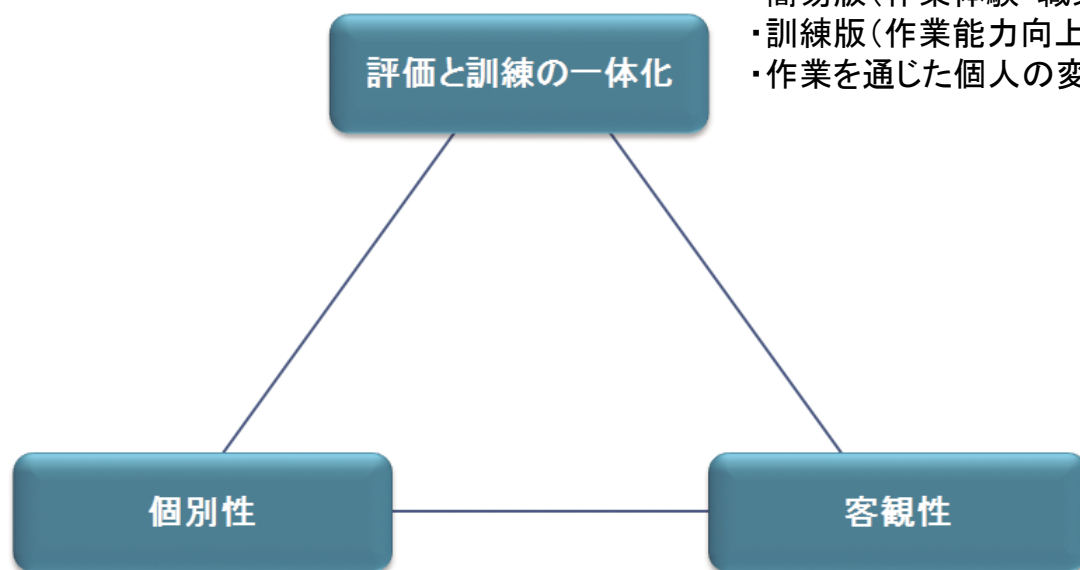


独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究部門

National Institute of Vocational Rehabilitation

ワークサンプル幕張版（MWS）の特徴

- ・簡易版（作業体験・職業評価）
- ・訓練版（作業能力向上等）
- ・作業を通じた個人の変化に着目



- ・13種類のワークサンプルから選択
- ・ワークサンプルごとにレベルを設定（易→難）

- ・作業結果（正答率、作業時間、エラー内容など）による判断
- ➡ 具体的フィードバックへ

（参考）職場適応促進のためのトータルパッケージとは

対象者が自らの課題に気づき、より正確に作業を行うための補完方法やストレスに対する対処方法、疲労に対する休憩の取り方を考え実践をしたり自律的な行動ができるように支援するための職業リハビリテーション技法のひとつです。効果的な指示の出し方や作業量の把握など、職場適応に必要な環境や配慮事項を明らかにすることも目指しています。

お問い合わせ先

障害者職業総合センター 研究部門 障害者支援部門

ワークサンプル幕張版については、当研究部門ホームページをご覧ください。
<http://www.jeed.or.jp>

※新ワークサンプルのご活用をお考えの方は、調査研究報告書No.145及び新規課題（簡易版）携帯用マニュアル（仮）で詳細をご確認いただけます。
（2019年度中に発売開始予定）



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究部門
National Institute of Vocational Rehabilitation

新ワークサンプルの概要

- ▶ 従来のワークサンプルより難易度が高く、より実務に即した新たなワークサンプルを開発して欲しいとの要望に応えるため、これまでのワークサンプルに比べて読解力、注意力、判断力などを必要とする「給与計算」、「文書校正」、「社内郵便物仕分」の3つの新たなワークサンプルを開発しました。
- ▶ 新たなワークサンプルは図表等の資料や手引書等を参考にしながら行う作業を想定し、「サブブック」を参考にしながら作業を行います。「文書に記載されたルールを理解する力」、「理解したルールを的確に運用する力」の把握を狙いとしています。

領域	ワークサンプル	
	名称	内 容
OA 作業	給与 計算	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 画面に表示された社員1名分のデータをもとに、給与計算に必要な各項目の値を計算し、指定されたセルに入力する ▶ 計算方法を記載したサブブックと保険料額表等の各種表を参照しながら作業を行う
事務 作業	文書 校正	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コラム、事務文書、報告書などの印刷物を用いて校正作業を行う ▶ 原稿と校正刷の文字等を引き合わせ、サブブックや報告書作成規定に従い、校正記号を用いて校正刷の誤りを修正する
実務 作業	社内 郵便 物 仕 分	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仮想の会社に届いた葉書や封筒等の郵便物を、宛先に書かれた部署（部・課等）や個人名を見て、正しいフォルダーまたはボックスに仕分ける ▶ サブブック内の仕分のルールに従い、組織図・社員名簿・あいうえお索引を参照しながら、正確に仕分ける

社内郵便物仕分



※イメージ図です

新ワークサンプル幕張版（MWS）の構成

	ワークサンプル名	内 容
O A 作 業	数値入力 (改訂)	画面に表示された数値を、表計算ワークシートに入力する
	文書入力	画面に表示された文章を、枠内に入力する
	コピー&ペースト	画面に表示されたコピー元をコピー先の指定箇所にペーストする
	ファイル整理	画面に表示されたファイルを、該当するフォルダに分類する
	検索修正 (改訂)	指示書に基づき、データを呼び出し、修正をする
	給与計算 (新規)	給与計算の手続きを記載したサブブックに従い、保険料額表などを参照しながら、給与計算に必要な各項目の値を算出し、指定されたセルに入力する
事 務 作 業	数値チェック (改訂)	納品書にそって、請求書の誤りをチェックし、訂正する
	物品請求書作成 (改訂)	指示された条件にそって、物品請求書を作成する
	作業日報集計	指示された日時・人に関する作業日報を集計する
	ラベル作成	ファイリング等に必要なラベルを作成する
	文書校正 (新規)	文書校正の手続きを記載したサブブックと報告書作成規定に従い、文書の校正作業を行う
実 務 作 業	ナプキン折り	折り方ビデオを見た後、ナプキンを同じ形に折る
	ピッキング (改訂)	指示された条件にそって、品物を揃える
	重さ計測	指示された条件にそって、秤で品物の重さを計量する
	プラグタップ組立	ドライバーを使い、プラグ、タップを組み立てる
	社内郵便物仕分 (新規)	サブブック内の仕分のルール・組織図・社員名簿・あいうえお索引に従って、郵便物を宛先の仕分フォルダー・ボックスに入れる

新ワークサンプルの内容

給与計算

給与計算

次の社員の、4月支給の給与を計算してください。
 社員番号00011、女性、30歳、非後払、資格なし、標準報酬月額240,000円
 通勤手当：公共交通機関利用の定期代(1ヶ月)
 控除対象扶養親族：なし
 控除対象扶養親族：なし
 1ヶ月の所定労働時間：152時間、普通残業20時間
 所得者本人：障害者に該当

開始時間：15:58:11
 経過時間：3分 54秒
 ブロック数：1 / 1
 LEVEL：3
 試行数：1 / 6

基本給 199720
 役職手当
 扶養手当
 通勤手当 7300
 資格手当
 残業手当

健康保険料
 厚生年金保険料
 雇用保険料
 所得税額

総支給額 207020
 控除額計 0
 差引支給額

◆計算補助

残業手当の時間単価計算
 基本給
 $(\text{基本給} + \text{役職手当} + \text{資格手当}) \div \text{1ヶ月の所定労働時間} = \text{時間単価}$

残業手当計算
 $\text{時間単価} \times \text{普通残業時間} \times \text{残業率} = \text{残業手当}$

課税対象額計算
 $\text{総支給額} - \text{健康保険料} - \text{厚生年金保険料} - \text{雇用保険料} - \text{所得税額} = \text{課税対象額}$

休憩

青いセルに入力する。
 レベルが上がると、
 入力するセルが増える。

文書校正

※イメージ図です

原稿

第4章 人口減少下における地域経済の在り方。
 第2節 各都道府県の産業構造の変化。
 前節では主に人口移動についてみ
 ろうか。1950年代後半から1970年代
 は、労働力の供給という側面から、
 成長を後押しした。このことから
 構造の変化は、地域内のみならず、
 また、地域の経済構造を把握するこ
 であらう。そこで本節では、各地の
 し、各地でどのような産業が集積し

初校

前 長	課 長	校正担当者

第4章 人口減少下における地域経済の在り方。
 第2節 各都道府県の産業構造の変化。
 前節では
 1950年代後
 という側面
 からも分
 り、各地内

第2節 各都道府県の産業構造の変化。
 前節では主に人口移動についてみてきたが、地域経済の構造
 1950年代後半から1970年代初頭にかけて生じた農村から都市へ
 という側面から、我が国の重化学工業や機械工業の発展を支え
 とからも分かるように、人口移動とそれに伴う産業構造及び
 我が国全体の経済成長に大きな影響を与えるといえる。また、
 地域ごとの特色をいかした地域振興の前提となるであろう。そ
 代からどのように変化したのかを概観し、各地でどのような
 とする。成

校正刷

解答例

※イメージ図です

改訂・新ワークサンプル開発のポイント

○ 活用範囲の拡大

福祉、教育、医療、能力開発など様々な支援機関でMWSが活用されるようになったこと

○ 対象者の変化

就職を目指す障害のある方に加えて、成人後に発達障害と診断を受けた方や精神疾患等により休職し職場復帰を目指している方など支援機関を利用する対象者が変化してきたこと

○ 要望の高まり

MWSを活用する範囲がひろがったこと、支援機関を利用する対象者が変化したことにより、MWSを効果的に活用できるようワークサンプルの内容や難易度の見直し、新ワークサンプル開発への要望が高まったこと

改訂の概要

- MWS開発のコンセプトを維持しつつ利用率の高さ、改訂要望の多さなどを考慮して検討を重ね、数値入力、検索修正、数値チェックなど下表のワークサンプルについて次の改訂を行いました。
- 改訂した内容
 - ①難易度の高いレベルを追加
 - ②各レベルのブロック数（問題数）を増量

領域	ワークサンプル名	レベル (難易度の高い レベルの増設)	各レベルのブロック数 (問題の増量)	
			レベル	ブロック数
OA作業	数値入力	6 → 8		12 → 20
	検索修正	5 → 6		20 → 40
事務作業	数値チェック	6 → 8		12 → 40
	物品請求書作成	5 → 6		10 → 40
実務作業	ピッキング	5 → 7		
			1～3	15 → 20
			4～5	16 → 20
			6	20
			7	15